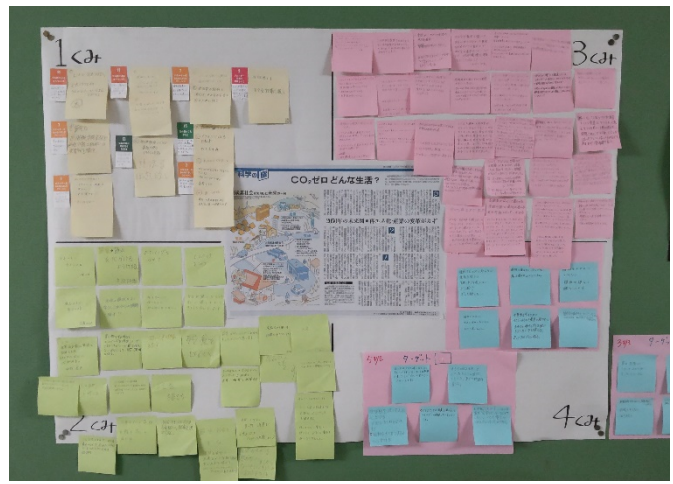


「ペタッと SDGs 新聞学習ふせん」を使った YWT 法による振り返り@山梨・県立山梨高等学校



同じ記事を読んでも関連づけるゴールが違う、同じゴールでも視点が違う。そんな気づきが得られるのも「ペタッと SDGs 新聞学習ふせん」を使ったワークショップのいいところです。山梨県立山梨高等学校では、5月11日の「ペタッと SDGs 新聞学習ふせん」（以降「ペタッとふせん」）を使ったオンライン出前授業（1年4クラス、50分）の翌週、YWT法（※）による生徒自身の振り返りが行われました。改めて感じたことや気づきなど、生徒の率直な感想をいくつか報告いただきましたので共有します。（撮影：久保寺信一教諭）

（※）YWT法はやったことを通じて学んだことを次に生かす振り返り手法の1つです。

Y：やったこと → W：わかったこと（Yから何を学んだか） → T：次にやること（Wで学んだことをどう生かすか）

< YWT法を使った振り返り >

- ① 記事に貼られた「ペタッとふせん」をゴールごとに分類し、ふせんに書かれたつぶやきを生徒に読んでもらう
- ② 改めて、記事の内容が SDGs のどのゴールと、どう結びつくかグループ内で話し合う
- ③ ②をクラス内で共有し、自分ごととしてどのような行動に結びつけていけばいいかを考える
- ④ ③をふつうのふせんに書き、模造紙にクラスごとに貼ってもらい、全体で共有する

< 感想 >

- SDGs について新聞記事と関連づけてくわしく考えたのは初めてで、なるべく1つの視点だけで考えないようにすることを意識して取り組みました。グループワークを通して友達のいろんな意見を聞いたことで、もっと視野を広げて深く学ぶことができました。SDGs とは違うテーマでもやってみたいと思いました。
- 今回の授業を通して、SDGs についてたくさんを知ることができ、一つひとつの項目の意味をしっかりと理解することができた。いま自分が SDGs を通してできることはどんなことか、また身近にある課題は何か、改めて考え直すことができた。他の人の意見も参考にしながら、グループの話し合いでも積極的に意見を出すことができた。
- 自分の意見を他の人とシェアすることで考えが深まるし、とても楽しく学ぶことができた。SDGs については中学の時に学習していたので知っていたが、17の項目については初めて考えるよいきっかけになった。

（遊佐美恵子）